



明治34年 第5回奥羽六県連合物産共進会 秋田市会場(「読者とともの一世紀」秋田魁新報社)

企画展

アーカイブズで見る明治のEXPO

秋田の博覧会・共進会

日本人と万国博覧会

万国博覧会は各国の工業社会化の現状の集中展示を目的とします。一八五一年にロンドンで最初の万国博覧会が開催されました。一八六七年(慶応三)のパリ万博では幕府が公式参加し、明治政府は一八七三年(明治六)のウイーン万博から参加しました。秋田県内からは、能代春慶塗がウイーン万博と一八七六年(明治九)のフィラデルフエア万博に出品され授賞しています。

明治十六年に農商務省
開催の水産博覧会賞牌
(メダル)図



平成十五年度の企画展開催にあたり、日頃から利用者の皆様には当館活動へのご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。この度の企画展は、秋田県庁文書群の中に保存されている明治期の博覧会や共進会に関する簿冊を紹介するものです。近代秋田の諸産業について貴重な記録が残っております。これらの現在の県内物産の振興にも関わる歴史的資料を展示しております。多くの皆様方にご来館頂けるようお待ちしております。

明治政府の博覧会・共進会

明治10年、第1回内国勸業博覧会が東京上野公園で開催されました。殖産興業政策を推進した大久保利通が、博覧会の効果を重視したことによります。ウーン万博を模範に、初めて部門別展示で構成されています。14年の第2回と23年の第3回も同所が会場となっています。秋田県庁文書群では、第3回出品の関係簿冊が最も整備された形で残っています。



東京上野公園内国勸業博覧会美術館荘飾之図・歌川広重(三代)画
『博覧都市 江戸東京』東京都江戸東京博物館

第4回(28年、京都市)と第5回(36年、大阪市)に関する簿冊は残っていませんが、「秋田県勸業報文」および「秋田県勸業時報」に記事があります。

明治政府は内国勸業博覧会のほか、特定部門を対象とした共進会等も開催しています。重要輸出入品に関わる綿糖共進会(明治13)と繭糸織物陶漆器共進会(同18)が含まれています。県庁文書群には、米麦大豆煙草菜種共進会、山林共進会、絵画共進会(同15)、水産博覧会(同16)の関係簿冊があり出品物や沿革が記録されています。

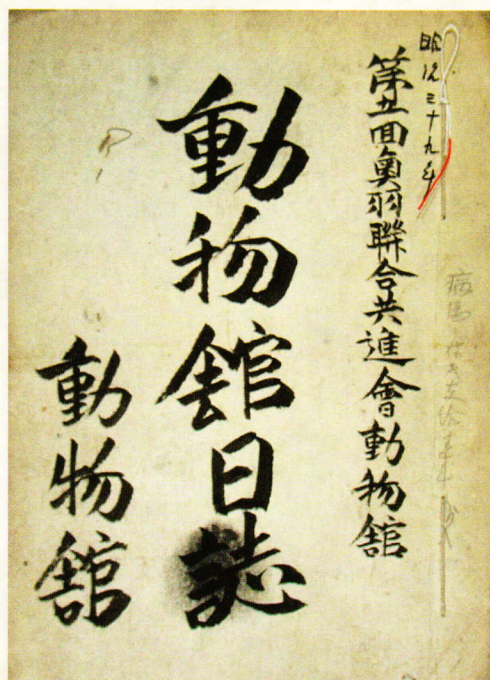


平福穂庵「乞食図」

東北各県の連合共進会

共進会は特定地域を対象としても開催されました。明治16年には宮城・福島・岩手・秋田の4県合同で陸羽連合共進会が宮城県で開催されました。米・麦・大豆・麻・^{からむし}苧・^{ろう}漆・^{まゆ}蠶・砂糖・生糸・繭が対象でしたが、21年には東京府と神奈川・千葉・茨城・福島・青森・岩手・秋田・山形・宮城の各県による一府九県連合水産共進会が宮城県石巻港で開催されています。共に県庁文書群に關係簿冊が有り、秋田県内からの出品が記録されています。

明治16年陸羽共進会に出品の
秋田県内腐米改良稲架掛け図



奥羽六県連合物産共進会は、明治27年の第1回は仙台市で開催され、宮城・青森・岩手の3県が参加、その後、30年に盛岡市、32年に青森市、34年に山形市、39年に秋田市、41年に福島市で開催され第2回目以降は6県参加となっています。秋田県庁文書群の中では、34年の第4回關係簿冊群が最も整備された形で残っています。6県一巡後、43年より関東と合同の連合共進会に発展しています。

明治39年第5回奥羽六県連合物産共進会の「動物館日誌」

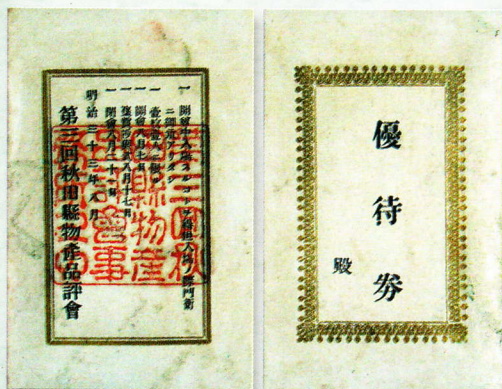
秋田県の博覧会・共進会

博覧会は明治初年の新風俗として、地方各府県でも盛んに開催されましたが、欧米の万博の影響を受けた京都博覧会を例外に、多くの地方博覧会は江戸時代の物産会や薬品会に近い内容です。明治10年に秋田博物館で開催された第1回秋田博覧会もその傾向に



明治10年第1回博覧会会場(秋田博物館)
(『秋田県史』第5巻 明治編)

あります。翌11年の第2回以降は、内国勸業博覧会を模範とし近代的な部門別構成の展示となります。第2回および13年の第3回は、八橋村の植物園を会場としています。



明治33年第3回秋田県物産品評会の優待券、入場券見本

明治19年、八橋村の第一勸業場で産馬共進会と山林繭糸共進会が開催された年に、秋田町で焼失家屋3,500戸の火災(俵屋火事)が有り、また明治10年代後半の不況で県内産業の衰微が始まっています。両共進会の開催には、民心発揚と産業振興の意味が込められていました。

また、明治22・27・33年の3回、秋田市で開催された秋田県物産品評会等の影響も受け、郡や町村の共進会も盛んに開催されています。

秋田県公文書館
企画展

前期 平成15年 8月26日(火)~9月18日(木)
後期 10月21日(火)~11月9日(日)